

作物の種類		いちご		492		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	草姿	10株	観察				立	やや立	中	やや開	開			収穫開始時の苗の姿を観察	
2	葉柄長	10株	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									定植期前の苗の第3展開葉について基部から小葉着生点までの長さを測定		
3	葉数	10株	測定	枚 (小数第2位を四捨五入)									収穫開始時の1株当たりの全葉数		
4	小葉身長	10株	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									収穫開始時の第3展開葉の中央の小葉について測定		
5	葉幅	10株	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									収穫開始時の第3展開葉の中央の小葉について測定		
6	果房長	10株	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									第1果房頂果成熟時の果房について、基部から頂果のへたまでの長さを測定		
7	花数	10株	測定	個 (小数第1位を四捨五入)									第1花房頂果成熟時の全開花数を花房数で除す		
8	果形	10株	観察		扁球	球	短円錐	円錐	長円錐	楔形	円筒	卵形		第1果房の2～3番正常果について観察	
9	果皮色	10株	観察		黄白	淡燈	淡燈赤	淡赤	赤	濃赤	暗紫			第1果房の2～3番果について完熟部分の色を観察	
10	果肉色	10株	観察		白	淡黄	淡燈	淡赤	赤	濃赤				第1果房の2～3番果について、中央部横切断した果実の果皮に近い部分の色を観察	
11	果実の大きさ	10株	測定	g (小数第2位を四捨五入)									第1果房の2～3番果について、重さを測定		

作物の種類		いちご		492		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	草丈	10株	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									収穫期の苗の地上部の高さを測定		
2	草勢	10株	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	収穫期の苗の勢いを観察	
3	分けつの多少	10株	測定	芽 (小数第2位を四捨五入)									収穫期の1株当たりの芽数		
4	葉のわん曲	10株	観察				上	やや上	平	やや下	下			収穫期の苗の第3展開葉について、中央の小葉のそり具合を観察	
5	葉の厚さ	10株	測定	mm (小数第3位を四捨五入)									収穫期の苗の第3展開葉について、中央の小葉の主脈に沿って2カ所測定		
6	葉色	10株	観察		黄緑	やや黄緑	緑	やや濃緑	濃緑	より濃緑	暗緑			収穫期の苗の第3展開葉について、中央の小葉の色を観察	
7	葉縁の鋸歯	10株	観察		極浅	より浅	浅	やや浅	中	やや深	深	より深	極深	収穫期の苗の第3展開葉について、中央の小葉の周囲を観察	
8	小葉数	10株	観察		3枚	時々3枚以上								収穫期の苗の小葉の数	
9	葉柄の太さ	10株	測定	mm (小数第2位を四捨五入)									収穫期の苗の第3展開葉について、中央の小葉の葉柄を測定		
10	葉柄の着色	10株	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	定植期前の苗の葉柄のアントシアン着色程度を観察	
11	果柄の太さ	10株	測定	mm (小数第2位を四捨五入)									第1果房頂果収穫時の頂果柄中央部の太さを測定		
12	花の大きさ	10株	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									第1花房の2～3番花について花の直径を測定		
13	がくの大きさ	10株	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									第1花房の2～3番花についてがくの直径を測定		
14	花弁数	10株	測定	枚 (小数第2位を四捨五入)									第1花房の2～3番花について花弁の数を測定		
15	葯の大きさ	10株	測定	mm (小数第2位を四捨五入)									第1花房の2～3番花について葯の大きさを測定		
16	果形の揃い	10株	観察		極劣	より劣	劣	やや劣	中	やや優	優	より優	極優	第1果房の2～10番果について果形の揃いを観察	

作物の種類		いちご		492		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
17	無種子帯	10株	観察	無	極小	より小	小	やや小	中	やや大	大	より大	極大	第1果房の2～3番果について無種子帯の大きさを観察	
18	ネックの大きさ	10株	観察	無	極小	より小	小	やや小	中	やや大	大	より大	極大	第1果房の2～3番果についてネックの大きさを観察	
19	果実のみぞ	10株	観察	無	極小	より小	小	やや小	中	やや大	大	より大	極大	第1果房の2～3番果について果実の縦溝の大きさを観察	
20	果実の空洞	10株	観察	無	極小	より小	小	やや小	中	やや大	大	より大	極大	第1果房の2～3番果について中央部縦切断した果実を観察	
21	果心の色	10株	観察		白	より淡赤	淡赤	やや淡赤	赤	やや濃赤	濃赤	より濃赤		第1果房の2～3番果について中央部縦割りした果実を観察	
22	果実の光沢	10株	観察		極鈍	より鈍	鈍	やや鈍	中	やや良	良	より良	極良	第1果房の2～3番果について果皮表面を観察	
23	果柄の切断の難易	10株	観察		極易	より易	易	やや易	中	やや難	難	より難	極難	第1果房の2～3番果について観察	
24	へた離れの難易	10株	観察		極易	より易	易	やや易	中	やや難	難	より難	極難	第1果房の2～3番果について観察	
25	そう果深度	10株	観察		浮	より浅	浅	やや浅	中	やや深	深	より深		第1果房の2～3番果について完熟部分のそう果を観察	
26	そう果密度	10株	測定	個（小数第2位を四捨五入）									第1果房の2～3番果実中央部について、直径1cm円内のそう果の数を測定		
27	ランナー数	10株	測定	本/株（小数第2位を四捨五入）									初夏のランナー発生最盛期に計測		
28	ランナーの太さ	10株	測定	mm（小数第2位を四捨五入）									初夏のランナー発生最盛期に1次ランナー中央部を測定		
29	花粉稔性	10株	測定	%（小数第1位を四捨五入）									第1花房開花期の3花より各300粒を検鏡		
30	花粉サイズ	10株	測定	μm（小数第1位を四捨五入）									第1花房開花期の3花より稔性花粉各100粒を測定		

作物の種類		いちご		492	2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	ランナー発生始期	10株	観察	年月日									第1ランナー発生日を株ごとに調査し平均する	
2	季性	10株	観察		一季		二季		四季					開花時期を調査する
3	開花始期	10株	観察	年月日									第1花房頂花の開花日を株ごとに調査し平均する	
4	成熟期	10株	観察	年月日									第1果房頂果が完熟した日を株ごとに調査し平均する	

作物の種類		いちご		492		2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	花芽分化期	10株	観察	年月日										第1花房肥厚後期に達した月日	
2	低温要求量	20株	測定	時間（小数第1位を四捨五入）										休眠打破に必要な5℃以下の温度を受けた時間の累積	
3	休眠性	20株	観察		極浅	より浅	浅	やや浅	中	やや深	深	より深	極深	平均気温10℃頃の株の矮化程度を観察	
4	耐暑性	20株	測定	%（小数第2位を四捨五入）										17℃と35℃の花粉稔性の低下率	
5	耐寒性	20株	測定	%（小数第2位を四捨五入）										17℃と5℃の花粉稔性の低下率	
6	耐干性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高		
7	うどんこ病抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高	圃場での自然発病度、発病株率を調査し、対照品種と比較する	
8	萎黄病抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高	汚染圃場での発病度、発病株率、枯死株率を調査し、対照品種と比較する	
9	灰色かび病抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高	圃場での自然発病度、発病株率を調査し、対照品種と比較する	
10	炭そ病抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高	苗に胞子を噴霧接種し、発病度、発病株率を調査し、対照品種と比較する	
11	萎ちょう病抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高		
12	根腐れ病抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高		
13	疫病抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高		
14	輪斑病抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高		
15	ハダニ抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高	圃場での自然発生度、発生株率を調査し、対照品種と比較する	

作物の種類		いちご		492	2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
16	ネコブ線虫抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高	
17	芽線虫抵抗性	20株	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高	

作物の種類		いちご		492	3次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	果実糖度	10果	測定	% (小数第2位を四捨五入)										糖度計によるBrix値を記入する
2	果実のpH	10果	測定	* (小数第2位を四捨五入)										pHメーターによる実測値を記入する
3	果実の香り	10果	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	第1果房の2~3番果について観察
4	果実硬度	10果	測定	g (小数第1位を四捨五入)										直径3mmのフォースゲージによる実測値を記入する

作物の種類		いちご		492		3次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	果実酸度	10果	測定	mg/100g (小数第1位を四捨五入)										滴定酸度をクエン酸含量に換算して記入する	
2	果肉硬度	10果	測定	g (小数第1位を四捨五入)										オートグラフにより測定	
3	果皮強度	10果	測定	g (小数第1位を四捨五入)										オートグラフにより測定	
4	果実の肉質	10果	観察		極粘	より粘	粘	やや粘	中	やや粉	粉	より粉	極粉		
5	果汁赤色度	10果	測定	* (小数第3位を四捨五入)										果汁を採取し、分光光度計により測定 (a/b)	
6	ペクチン含量	10果	測定	mg/100g (小数第1位を四捨五入)										定量分析による	
7	ドリップ率	10果	測定	% (小数第1位を四捨五入)										新鮮果と解凍果実との減少程度	
8	オフフレーバー	10果	官能検査		極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多		
9	ビタミンC含量	10果	測定	mg/100g (小数第1位を四捨五入)										定量分析による	
10	総果数	区	測定	果 (小数第1位を四捨五入)										10株の2区とし、区ごとにまとめて計算し、平均する	
11	平均1果重	10果	測定	g (小数第1位を四捨五入)										総果重/総果数	
12	日持ち性	10果	測定	% (小数第2位を四捨五入)										貯蔵温度15℃における3日後の果皮色L値や果実硬度の変化率を測定	
13	輸送性	50果	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高		
14	果皮部のアントシアン含量	10果	測定	* (小数第3位を四捨五入)										分光光度計により吸光度を測定.果皮部の切片(果実表層から厚さ約1mm)5gを2%(V/V)塩酸エタノール(または1%塩酸メタノール)100mlで暗黒下一昼夜抽出,抽出液の吸光ピーク波長(510nm~540nm)で吸光度を測定する.	

作物の種類		いちご		492	3次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	
15	果肉部のアントシアン含量	10果	測定	* (小数第3位を四捨五入)									分光光度計により吸光度を測定.果肉部の切片(厚さ約3mm)5gを2%(V/V)塩酸エタノール(または1%塩酸メタノール)100mlで暗黒下一昼夜抽出,抽出液の吸光ピーク波長(510nm~540nm)で吸光度を測定する.